

玉入れ競技で熱い戦い 第4回洞爺湖町民玉入れ交流大会

第4回洞爺湖町民玉入れ交流大会（洞爺湖町スポーツクラブ主催）が、1月29日あぶた体育館で開かれました。1チーム6人で、小学校低学年、同高学年、シニアの各部に総勢10チーム、60人が参加しました。

ルールは、2対60（高学年、シニア=3対）のバスケットに持ち球50球をいかに早く入れるかを競うタイムレース。最後のアンカーボールがなかなか入らず、四苦八苦するなど会場は大いに盛り上がりました。

各部門の優勝チームは次のとおり。
小学校低学年 はしるくん
同高学年 ピーヨコチャン2世ポパイ/シニア 泉A



集中してバスケットに玉を投げ入れる児童

第32回洞爺湖町町長杯近隣市町家庭婦人バレーボール大会（洞爺湖町バレーボール協会主催）が、2月5日あぶた体育館で開かれ、洞爺湖が優勝を収めました。

西胆振から11チームが参加。3ブロックに分かれての予選リーグと勝ち抜いた8チームによる決勝トーナメントを実施。力強い戦いが繰り広げられました。

洞爺湖は、予選を2対0で突破し、決勝トーナメントに進出しました。同トーナメントでは、2回戦で昨年優勝の若草を接戦の末破り、3連覇を阻止し、その勢いで決勝戦は2対0で快勝しました。

秋田奈樹佐主将は「チームワークの勝利。来年も優勝して2連覇を達成したい」と喜びを語りました。



優勝した洞爺湖の皆さん

白熱した試合を繰り広げる ママさんバレーボール大会で洞爺湖優勝

緑豊かな洞爺湖中島の自然環境を復元し、保全することを目的に、洞爺湖町、壮瞥町、環境省、後志森林管理署など関係機関13団体が参加して、2月10日役場防災研修ホールで、洞爺湖中島エゾシカ対策協議会の設立総会が開催されました。

会議では、設立趣旨の説明や規約の制定が論議され、今後の中島のエゾシカ対策について、酪農学大学吉田剛司准教授から説明を受けました。

同対策では、ニホンジカ捕獲の技術開発研究事業として、環境省研究推進費を活用して実施。今後2年間で約260頭捕獲して、約50頭までにする計画を明らかにしました。



中島の復元と保全をめざす対策協議会の設立総会

中島の復元と保全をめざす 洞爺湖中島エゾシカ対策協議会設立

羊蹄山を望む花和特設コース 歩くスキーで汗流す

冬の体力づくりを目的に、2月18日花和特設コースで、歩くスキーの集い（教育委員会主催）



白銀の世界を楽しむ参加者ら

が行われ、約30人が参加し、心地よい汗を流しました。

コースは、旧花和小学校をスタートする約5キロ。晴天の白銀に飛び出した一行は、羊蹄山、ニセコ連峰を望みながら、2時間30分ほどかけて完走しました。

昼食では、スポーツ推進委員や花和自治会の皆さんが作ってくれた豚汁と牛乳がふるまわれ、疲れた体を癒してくれました。

まちのわだい